

GloPAD 趣意書

GloPAD（グローバル舞台芸術データベース）は、世界中の舞台芸術に関するデジタル画像、テキスト、ビデオクリップ、録音や3D画像のような複雑なメディアオブジェクトを含むマルチメディアで、多言語対応のウェブアクセス可能なデータベースです。すべての記録には、関連作品、プロダクション、上演者や創作者についての情報に加え、デジタルオブジェクトの権威ある詳細な解説が入っています。

GloPAD の選別された特色

マルチメディア

データベースは静止画像、ビデオクリップ、録音、テキストや3D画像のような複雑なメディアオブジェクトの保存と検索能力を有しています。ストリーミング・ビデオ、録音や複雑なメディアオブジェクトは現在試験中です。

多言語対応

GloPADのすべては、パフォーマンスおよびその関連する資料の言語と同様に英語で入力されています。日本語、ロシア語、中国語、ドイツ語が現在入力可能になっており、現在、公共のインターフェースに表示され、ほかの言語も可能な限り、追加される予定です。

権威

認定された学者と舞台芸術の専門家が専門知識の分野での記録入力を監督しています。全体的な運営を監督する諮問委員会が現在設立されています。

デジタルオブジェクトの数

データベースには5400点以上のデジタルオブジェクトが入っており、助成金の追加とともにその数は増加する予定です。

標準化

米国の博物館と図書館をサポートする連邦機関（The Institute of Museum and Library Services）

からの財政的支援により、GloPAC（グローバル舞台芸術コンソーシアム）は舞台芸術のためのメタデータスキーマを開発しています。データベースでこの標準化を実施することで、デジタルオブジェクトのすべてを文化とパフォーマンスの全種類にわたって、確実に効率的な検索を行えるように解説しています。

豊富な情報

優れたメタデータ構造を利用し、データベース内の各デジタルオブジェクトは表示している舞台芸術およびパフォーマンスに関連した多くのコンポーネント（コスチューム、セット、プログラム、台本等）についての情報を豊富に備えています。さらに、創作者

、レポジトリや知的所有権についての詳細を含み、デジタル画像（写真、ビデオ、絵画、書籍等）についての記述的情報を提供しています。

ユーザーインターフェース

GloPADには二つのユーザーインターフェースがあります。一つは一般の人々がブラウザ機能を使って地域別とテーマ別にコレクションを探索したり、検索モードを使ってさらに絞り込んだ調査を行うことを可能にしています。もう一つはスタッフと編集者のためのもので、データ入力の処理を効率的で信頼性のあるものにするためにオンラインヘルプとテンプレートを使用しています。

アクセスの可能性

GloPAC（グローバル舞台芸術コンソーシアム）は舞台芸術に教育的、創造的および個人的な興味をもつ人が、私用や短期間の授業内の研究用として、容易に利用できるデータベースを作成することを目的としています。現在、無償でアクセスすることができますが、将来、開発費と維持費を補うために購読システムを実施する可能性があります。障害者のアクセスを有効にするために、目安として認定された基準を使用しています。

舞台芸術リソース・センター (PARCs)

舞台芸術リソース・センターはGloPADに保存されているデジタルオブジェクトや情報を利用するウェブサイトであり、インタラクティブで、革新的かつ解釈的な学習環境です。学術的な内容と高い技術をもった教材を兼ね備えることにより、舞台芸術の指導や研究が発展することを目的としています。

知的所有権

GloPAD内の資料所有者は著作権を保持しています。GloPAC（グローバル舞台芸術コンソーシアム）はそのデジタル画像に対し、非独占的権利のみを要求します。私用や短期間の教育的な使用以外で資料の出版や使用を希望する方には、資料所有者、またはその代表者に連絡先を案内する機能が備わっています。資料創作者と所有者のすべてはGloPADの記録に認知されています。

財政的支援

GloPAC（グローバル舞台芸術コンソーシアム）は現在、参加団体からの継続的なサポートに加えて、二つの米国連邦政府の助成金で運営されています。一つは舞台芸術のためのメタデータ・スタンダードの開発、オンラインヘルプとテンプレートの作成、データベースへの2000点以上のデジタルオブジェクトの追加の費用に米国の博物館と図書館をサポートする連邦機関（The Institute of Museum and Library Services）からの47万ドルを超える助成金であり、もう一つはオンライン上の指導と研究資源やリソース・センターの構想の模範としての日本舞台芸術リソース・センター（JPARC）の開発費に The National Endowment for the Humanities（人類の歴史、思想、文化に関する知識を深めるために設立された連邦機関）からの18万ドルの助成金です。データベースの拡大とリソース・センターの発展のために、さらなる財政的支援の協力を求めています。